

## 社会の要請に応える体験活動事業 「タラッキーキャンプ～しぜんとあそぼう～」

1回目 令和3年10月9日（土）～10日（日）

2回目 令和3年11月13日（土）～14日（日）

【担当：和泉 志帆】



### 1. 事業の背景

小学校学習指導要領第1章総則6-3では、「学校や学級内の人間関係や環境を整えるとともに、集団宿泊活動やボランティア活動、自然体験活動、地域の行事への参加などの豊かな体験を充実すること」とし、学校教育での自然体験活動の充実を取り上げています。また、生活科の学習指導要領3-2-(4)には、「公共物や公共施設を利用する活動を通して、それらのよさを感じたり働きを捉えたりすることができ、身の回りにはみんなで使うものがあることやそれらを支えている人々がいることなどが分かるとともに、それらを大切に、安全に気を付けて正しく利用しようとする。」とあります。

そこで当所においては、小学校1～2年生を対象に、自然物に目を向ける活動を通して、子供たちが自然体験活動に興味を持つきっかけをつくるとともに、公共施設での生活を通して、ルールやマナーの大切さに気付くことや規則正しい生活を促すために、本事業を実施しました。

例年、定員60名で募集していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、1回の定員を30名とし、2回実施することとしました。

### 2. 事業の趣旨

自然を五感で楽しむ自然体験活動を通して自然に親しむ心を育む。また、規則正しい生活を送る中で「早寝早起き朝ごはん」の定着を促すとともに、自立心を育てる。

### 3. 目標

- (1) 自然とふれあい、自然の中で活動する楽しさを知る。  
…「知らなかった」「おもしろい」「きれい」など自然のよさに気付く、感じる。
- (2) 規則正しい生活を送ることができる。  
…自分のことは自分でやってみる。
- (3) 公共施設でのルールを守ることができる。

### 4. 対象

小学1～2年生

### 5. 事業の実施

(1) 期日 1回目 令和3年10月9日（土）～10日（日）

2回目 令和3年11月13日（土）～14日（日）

※当初、1回目の実施を9月4日（土）～5日（日）で計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、長崎県内の感染段階がステージ5（緊急事態宣言）に引き上げられたため、11月13日（土）～14日（日）に延期。

(2) 参加者

1回目

	男	女	計
1年生	19	6	15
2年生	3	9	12
合計	12	15	27

2回目

	男	女	計
1年生	12	11	23
2年生	6	0	6
合計	18	11	29

(3) 日程

1日目

時間	内容
13:00	受付
13:30	始まりの会 仲良くなるゲーム
14:30	わくわく森の探検隊 ・ハイキング ・ネイチャーゲーム ・自然物拾い
16:00	ベッドメイキング
17:40	夕食 (レストラン)
19:00	入浴
20:00	おはなしの会 ・絵本の読み聞かせ
21:00	就寝

2日目

時間	内容
6:30	起床 身支度
7:00	片付け、清掃
8:00	朝食
9:00	写真ボードづくり
10:30	ふりかえり
11:00	終わりの会 ・思い出ムービー上映 ・感想発表
11:30	解散

#### (4) 活動の様子



##### 【始まりの会・仲良くなるゲーム】

出会いの時間では、はじめ緊張した面持ちでしたが、ゲームを行う中、次第に表情が柔らかくなっていきました。

「安全に活動する」「人の話をしっかり聞く」「自分のことは自分でやる」というキャンプの約束と、2日間の過ごし方を確認しました。



##### 【わくわく森の探検隊】

森の中で、自然物と触れ合うゲームをしました。実際に葉っぱに触ってみたり、大きさや形を比べてみたりする中で、自分のお気に入りの葉っぱを見つけ、みんなの前で紹介しました。珍しい形の葉っぱを見つけると、「みてみて!」と、とっても嬉しそうに、一生懸命、人に伝えようとしていました。一人一人新しい発見をして、自然に親しみました。



##### 【ベッドメイキング】

自然の家では、寝具の準備も自分でします。体の何倍もある布団を工夫しながら敷きました。早く終わった子は、まだ終わっていない子を手伝うなど、子供たち同士で助け合って準備を進めていました。



##### 【おはなしの会】

就寝前に、スタッフが絵本の読み聞かせを行いました。子供の反応を見ながら、本に興味を持つように読み方に強弱をつけるなど工夫をしました。子供たちは集中して、最後まで静かにお話を聞いていました。読み聞かせ後は、「おもしろかった」「もっと読んでほしい」という声が聞かれました。



##### 【写真ボードづくり】

1日目に拾った葉っぱや木の枝を使って、集合写真の周りを飾りつけ、写真ボードを作りました。一晩で葉っぱの色が変わっていることに気付くなど、制作中もたくさん観察していました。飾りつけは、それぞれ個性にあふれ、世界に一つだけの作品を完成させました。



##### 【ふりかえり・終わりの会】

お別れの時間です。保護者の方にも参加してもらい、2日間の活動をまとめた動画を一緒に視聴しました。気づいたことや思ったことなどの感想を、保護者や友達みんなの前で発表しました。最初は緊張していた子供たちが、友達もできて、笑顔で自然の家を後にしました。

## 6. 評価

### (1) アンケート結果（キャンプ全体に対する満足度）

満足	やや満足	やや不満	不満
80%	20%	0%	0%

### (2) 参加者の声

- ・1日でこんなにたくさんの友達ができた。
- ・おかあさんやおとうさんがいなくてもさみしくなかった。
- ・ボードを作ったり、みんなと見せ合いっこがたのしかった。
- ・自然にはいろんな生き物がいるんだなと思いました。
- ・キャンプはそわそわする。
- ・いろんな葉っぱがきれいだった。
- ・自然がいっぱいあると思った。自然があると気持ちよくなる。
- ・赤い葉っぱが拾えてうれしかった。

## 7. 成果と課題

### (1) 成果

初めて親元から離れて宿泊の体験をする子が多く、不安な様子が多くみられましたが、スタッフや新しい友達にもすぐに慣れ、積極的に活動していました。自然について、一つでもいいから興味を持ってもらうことをねらいとしましたが、1回目はたくさんの活動を組み込んだため、子供たちの気づきに注目することや、自然物をじっくり観察できるような声かけや促しを行う時間がとれませんでした。そこで2回目は、プログラムにゆとりを持たせるため、活動を1つに絞り、葉っぱに着目する活動を行うことで、子供たちの気づきを広げることができました。子供たちからは「赤と緑が混じってすごい!」「茎にはとげとげとつるつるがある!」「かわいい葉っぱ見つけたよ!」などと、自ら進んで自然を観察し、新しい発見を喜ぶ姿が見られました。

2日間を通して、寝具の準備や荷物の整理、清掃、お風呂や食事の後片付けなど、自分たちで行うよう声をかけたところ、スタッフの援助を必要とせずに、集団生活のルールをしっかり守ることができました。

### (2) 課題

小学校低学年の子供たちにとって、集団生活の中で規範意識や仲間意識などを育てることが大切です。話を聞くときに静かにできず、友達とお話をしたり、活動時に違う場所で好きな活動をしたりする子供がいました。今回は、集団を意識する活動が少なかったことが考えられます。

### (3) 今後の展望

自分のことを自分でするだけでなく、人の話をしっかり聞くことや、自分勝手な行動は周りに迷惑をかけることなど、集団生活でのルールや、他の人と生活する上で大切なことに気付かせたいと考えます。

低学年が初めて参加するキャンプとして、保護者からのニーズも高い事業です。今回の課題を踏まえて、班での活動を取り入れ、集団を意識した活動の大切さを認識できるような事業を企画したいと思います。